

株式会社ファミリーマート御中

夢の掛け橋募金 2018年第1.2四半期 報告書

国連WFP ミャンマー連邦共和国における学校給食支援



World Food Programme

特定非営利活動法人

国際連合世界食糧計画WFP協会

はじめに：ご支援の御礼

国連WFPは、飢餓のない世界を目指して活動しています。

平素より、国連WFPの活動に温かいご協力を賜り、ありがとうございます。

ファミリーマートのお客さまや、各店舗の皆さまのご理解とご協力により、ファミリーマート夢の掛け橋募金の2018年第1.2四半期において、ミャンマーの子どもたちの学校給食のために、45,847,137円のご寄付をいただきました。これは、1,528,238人の1日の給食に相当します。また、ファミリーマート様より、募金額に連動し3,830,000円のマッチングギフトをいただきました。心より御礼申し上げます。

学校給食により、親が子どもたちを積極的に学校に通わせるようになり、子どもたちは空腹が満たされ、集中して勉強することができます。教育を受けることで子どもたちは将来への夢や希望を持てるようになり、また教育の普及は社会や国の発展にもつながります。

国連WFPは1978年から、ミャンマーで支援活動を行ってきました。これからも一人でも多くの子どもが国連WFPの活動を通じて学校に通い、未来の担い手として成長できるよう、温かいご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。



事業概要：学校給食支援

事業名	学校給食支援
実施国	ミャンマー連邦共和国
事業期間	2018年1月～2022年12月
事業内容	栄養強化ビスケット（75g、約337kcal）、学校給食の支給
対象者	未就学児童と小学校児童
事業目標	就学率・出席率の向上、中途退学者の減少、学習意欲の向上、飢餓の減少、微量栄養素不足の解消
ご寄付額	2018年度 第1四半期 22,104,333円（2018年3月～5月） 第2四半期 23,742,804円（2018年6月～8月） プログラムスタート時からのご寄付総額： 203,861,325円（6,795,378人分の学校給食に相当）
ファミリーマート様からのマッチングギフト	2018年度上期分 3,830,000円

飢餓のない世界を目指して

ミャンマー連邦共和国：支援地の状況



人口	5,148万人 (2015年5月29日発表、出所：ミャンマー国管理・人口暫定発表)
面積	68平方キロメートル (日本の約1.8倍)
民族	ビルマ族 (約70%)、その他130を超える少数民族
主要産業	農業
GDP1人当たり	1,307ドル (2016/17年度、IMF推計)
人間開発指数	188国中145位 (2016年UNDP)

- 人口の37.5%が貧困ライン以下で生活
- 5歳未満の子どもの29%が慢性的な栄養不良
- ASEAN諸国の中で、平均寿命が66.8歳と最も低く、子どもの死亡率が1,000人中62人と最も高い国の一つ
- 6~23か月の子どもで、食事エネルギーの最低必要量を摂取できているのは16%のみ



©WFP/Saikat Mojumder



飢餓のない世界を目指して

国連WFPの学校給食支援

国連WFPは、約43万人のミャンマーの子どもたちに、毎日学校給食を届けることを目標に活動しています。皆さまからのあたたかいご寄付が子どもたちの笑顔に繋がっています。



職員室に日本から届いた栄養ビスケットが保管されています。©WFP



教室で仲良くビスケットを食べる子どもたちですが、決して分け合ったりはしません。学校では、ビスケットは誰かにあげたりせず、必ず自分の分は自分だけで食べるように指導されています。

一日2回に分けてビスケットを食べるため、一人ずつ名前が書かれた容器を持っている学校もあります。

学校の指導により、子どもたちは授業中にお腹を空かせていることがなくなり、栄養状態は改善されました。さらには子どもたち自身が、必要な栄養をつけて、頑張る勉強するという、ビスケットを食べる目的をしっかりと理解することで、学校で学ぶことの大切さが分かってきたそうです。

飢餓のない世界を目指して

国連WFPの学校給食支援



8人の子どもを持つお母さん。
上の4人の子どもたちは、お金の問題で学校を辞めてしまったそうです。
現在学校に通い、ビスケットの支援を受けている下の4人の子どもたちは、とても頑張って勉強するようになったので、高校まで進学できるよう、支援を続けて欲しいし、自分たちの仕事も頑張っていきたいと、話しています。



飢餓のない世界を目指して

国連WFPの学校給食支援

将来は、ミャンマー政府による学校給食事業の運営を目指しています。
いただきましたご寄付は、政府職員、教員などの学校スタッフ、教育委員会へのトレーニングの実施のためにも活用されています。



飢餓のない世界を目指して